

# 書評論文とそのリプライ

## 『意味の歴史社会学 ルーマンの 近代ゼマンティック論』

高橋 徹 著 世界思想社 全 244 頁 2002 年発行

書評論文：誰が今ルーマンを読む（べきな）のか？

北田 暁大（東京大学 社会情報研究所）

リプライ：「作品」としての社会理論—北田暁大氏へのリプライ

高橋 徹（札幌学院大学社会情報学部）

---

今期の紀要編集委員会では、「書評論文とそのリプライ」というコーナーを発足させることにしました。これは本学部教員の刊行した著作に対して、その分野における学外の第一線の研究者によって問題提起的な書評論文を書いてもらい、さらに原著者にそのリプライを書いてもらうという内容のものです。この形式は日本社会学会の学会誌『社会学評論』、北海道社会学会の学会誌『現代社会学研究』などですでになされています。そこで本誌でも、本学部所属教員の研究をさらに活性化させることをねらいとして同様のコーナーを設けることとし、今回はその第1回として高橋徹著『意味の歴史社会学』（世界思想社）を対象書としました。今後も自薦、他薦を問わず多くの書物を取り上げていきたいと考えています。

（編集委員会）

---